

エネルギー拠点化のポテンシャル

石炭



○大水深の専用バースをもち、国内屈指の規模を誇る石炭輸入基地。
(日本コークス工業株式会社)

LNG



○世界最大級の大型LNGタンカーが入港できる、大規模LNG基地。(H26運用開始予定)
(ひびきエル・エヌ・ジー株式会社)

風力発電

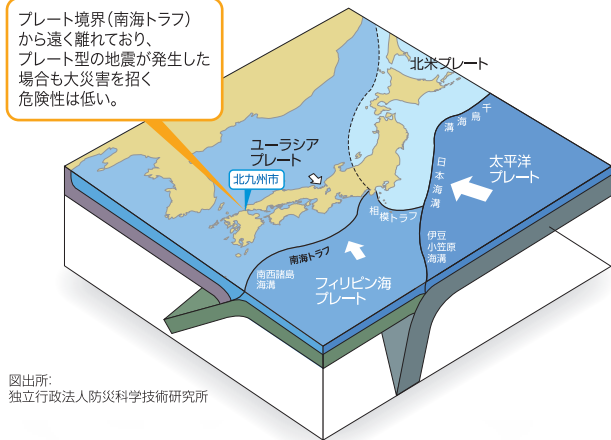


○風況がよい日本海側での電力の大消費地。
(NEDOと電源開発株式会社との共同研究事業)

災害への強さ

事業継続性の高い都市 北九州市

北九州市は、地理的に日本海側に面している部分が多いことや地震が多発しているプレート境界から遠く離れていることから、大地震が発生しにくい地域にあります。また、市内にも内陸型活断層は2箇所ほど確認されていますが、発生確率は非常に小さいものとなっています。



充実した行政支援

環境・エネルギー技術革新企業集積特別助成金

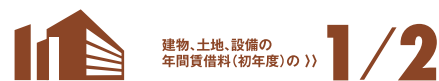
環境・エネルギー産業のうち、技術革新につながる材料・製品・製造装置に関する研究・開発施設、工場

①設備補助

助成額の上限10億円



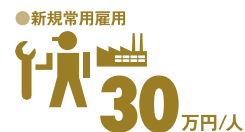
●投資額20億円以上・新規雇用20人以上・新規事業の場合



●その他、企業立地の際には多くの助成制度が活用できます。
●立地に際して、ワンストップで対応しています。

②雇用補助

助成額の上限なし



●研究開発員 100万円/人

●但し、短時間労働者の場合



北九州市新成長戦略

北九州市では、取り巻く社会経済環境の変化に対応し、ポテンシャル(優位性)を十分に発揮しながら、国際的な競争時代においてもアジアの中核的な産業都市として、持続的な発展・成長を目指すため、平成25年3月に「北九州市新成長戦略」を策定しました。平成25年度からの3年間、スピード感を持って、各種施策に取り組んでいきます。

成果目標

- 市内総生産 4兆円(～平成32年度)
- 市民所得 政令市中位(～平成32年度)
- 新たな雇用創出 8,000人(平成27年度)

- 方向性Ⅰ 地域企業が元気に活動し続ける環境整備
- 方向性Ⅱ 地域企業の成長と新たな企業立地による高付加価値ものづくりクラスターの形成
- 方向性Ⅲ 国内潜在需要に対応したサービス産業の振興
- 方向性Ⅳ 北九州の強みを活かし、アジアなどのグローバル需要を取り込む海外ビジネス拠点の形成
- 方向性Ⅴ 地域の成長を支えるエネルギーミックスの構築による地域エネルギー拠点の形成



北九州市地域エネルギー拠点化推進事業

北九州市地域エネルギー拠点化推進事業

地域のエネルギーは地域が考える時代に

低炭素で安定・安価なエネルギー拠点の形成を目指す

- 安心して市民生活・産業活動ができる都市
- 多くの企業が選択し立地する都市
- 北九州市だけでなく九州・広域に貢献する都市

地域の成長を支えるとともに
環境・エネルギー問題を解決する拠点を目指す

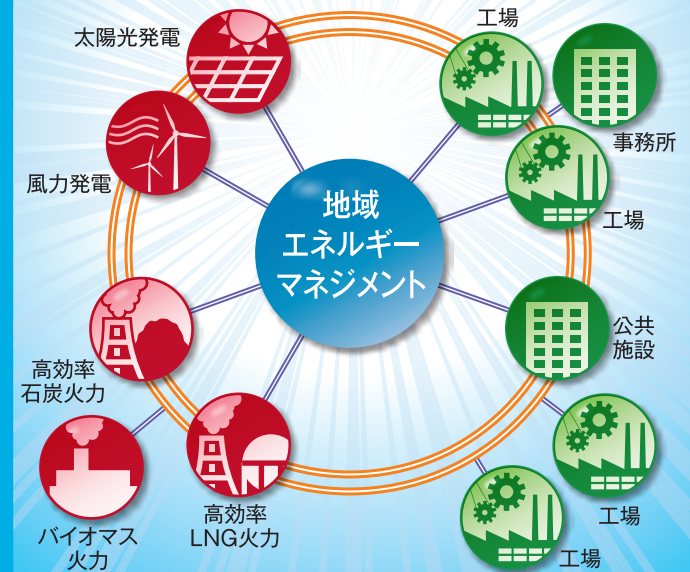


北九州市は、エネルギー問題を解決する受け皿として国内有数の適地です

2030

世界をリードするビジネス環境

安定・安価で賢いエネルギー網の構築



再生可能エネルギー、
基幹エネルギーの
創出拠点の形成

省エネルギー
(ネガワット)の
推進

2013



風力発電

「北九州市地域エネルギー拠点化推進事業」の旗揚げ

- 省エネルギー(ネガワット)の推進
- 再生可能エネルギー、基幹エネルギーの創出拠点の形成
- 安定・安価で賢いエネルギー網の構築



○発電事業の立地可能性調査

立地を検討する事業者に対するインセンティブとなるように、発電事業に関する自然環境調査や事業性調査など立地可能性調査を行う。

○地域エネルギーマネジメントの検討

火力発電・洋上風力など供給側だけでなく、東田のスマートコミュニティの実証を通じた産業版スマートグリッドの実現を響灘地区において目指す。

○北九州市地域エネルギー推進会議、部会の設置

事業推進を図っていく調整の場として「北九州市地域エネルギー推進会議」を設置し、より具体的な検討に着手する。

推進会議の下に、火力部会・洋上風力部会の2つの部会を設け、発電事業に関する自然環境調査や事業性調査、法規制・許認可の整理などを踏まえ課題等を抽出し、その解決に向けた検討を行う。

北九州市地域エネルギー推進会議

火力発電立地検討部会

洋上風力発電立地検討部会

環境技術都市・エネルギー産業の パイオニアとして



エネルギー拠点としての実績